

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月11日 更新

事務事業名		水道事業量水器購入及び取替事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	4	生活環境の健全		所属部	水道局
	施策	17	水の保全・安定供給		所属課	水道課
	業務分野	59	水の安定供給		所属班	水道班
課長名		大塚 勝己		担当者名		飽本 哲平
内線		(内線)		5244		
予算科目		会計	款	項	目	事業連番
企業		法		令		計量法
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	①新規水道申込者への量水器貸与 ②計量法で8年と定められている量水器の法定交換 ③不具合の発生(凍結により損壊したものやガラス面の曇りで検針が困難なもの等)した量水器の取替え等に備え、必要数の水道量水器の在庫を確保し調達管理する事業である。 水道量水器は、計量法で適正な計量の実施を確保することを必要とされる特定計量器と定められ、計量法施行令第18条で有効期限が8年と定められているため、検定に適合した量水器を調達し、上記の新設貸与、法定交換及び不具合による取替えを行なうために事業を開始した。 市内全体の水道利用者数(給水件数)は、本市の人口増加に伴い増加傾向にあることから、今後必要となる量水器も増加する見込みである。 なお、平成24年度から料金徴収業務等を民間委託しており、併せて量水器法定交換作業や取替通知の発送業務等も委託により実施している(量水器の在庫を確保し調達管理する事務は水道班で実施している)。
【業務の流れ】	①量水器の調達事務(年間単価契約事務 → 1 新規購入、2 パーター(下取り)購入、3 検定(改造)に分類) ②量水器の在庫管理事務(水道申込者への貸与、法定交換による払出し、故障等による取替え→在庫管理し、必要量の個数を確保する。)
【主な予算費目】	(款)1. 水道事業費用(項)1. 営業費用(目)4. 業務費(節)委託料 (年間単価契約分(検定(改造))) (款)1. 資本的支出(項)1. 建設改良費(目)1. 営業設備費(節)備品消費 (年間単価契約分(新規購入、パーター(下取り)購入))

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

新規水道申込者用、法定交換用及び取替え用として、量水器(φ13~100mm)の年間購入単価契約を行なった。有効期限が満了した量水器(8年経過)の取替えを行なった。また、必要に応じ不具合の発生した量水器の取替えを実施した。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

平成24年度からの料金徴収業務等の民間委託に伴い、量水器の法定交換業務も民間委託にて実施。新規水道申込者用、法定交換用及び取替え用の量水器(φ13~100mm)の年間単価契約事務は水道班で実施する。

③予算の主な増減の理由

予定されている量水器検定及び購入数の増。

成果指標

ア	取替済量水器数/取替対象量水器数	%	2025.3月31日時点	データ取得方法
イ	新規払出し量水器数/新規給水申込数	%	2025.3月31日時点	

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
イ	%	100	100	100	100	100	100	100	100
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	6,140	9,753	20,650	8,581	19,953		
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
(A) 事業費計	千円	6,140	9,753	20,650	8,581	19,953	0	0	0

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

量水器の法定交換業務を確実にしない、適正な量水器単価契約事務の執行及び在庫管理を徹底することで目標は達成できた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)